

いちのへスタイル

一戸町 商工観光課 地域おこし協力隊
令和2年5月からの活動事例発表

令和3年1月18日(月)

目次

- ①自己紹介
- ②一戸町の紹介
- ③いちのへスタンプラリーでごはん堂の取組
- ④“繋がり”と“優しさ”を大切にしたドライブマップ作り
- ⑤今後について

自己紹介

名前:大平直人(25)

出身:宮城県仙台市 → 岩手大学教育学部

前職:川嶋印刷株式会社 営業

現職:一戸町商工観光課 地域おこし協力隊第四号
(R2/5/1着任)

座右の銘:植松努さんの「思うは招く」

プライベート:バスケットボールの指導、飲み会大好き
自転車で風を切ることが好き



自己紹介

【地域おこし協力隊のミッション】

「観光振興」

- ↳ 町内飲食店の情報収集・課題解決
- ↳ お土産品の研究・開発

【9か月の取組】

- ①「いちのへごはん堂」のサイト制作
- ②「一戸スタンプラリーでごはん堂」の実施・運営
- ③“繋がり”と“優しさ”の「ドライブマップ」を作成中



①自己紹介

②一戸町の紹介

③いちのへスタンプラリーでごはん堂の取組

④“繋がり”と“優しさ”を大切にしたドライブマップ作り

⑤今後について

一戸町とは



	人口	面積	人口密度
一戸町	11,925 人	300.03 km ²	40 人/km ²
盛岡市	290,529 人	886.47 km ²	328 人/km ²

【岩手県北の玄関！】

- ・国道4号
- ・IGRいわて銀河鉄道
- ・高速道路八戸自動車道一戸IC

【山が多い！】

- ・山林原野が町面積の6割を占める→高原野菜

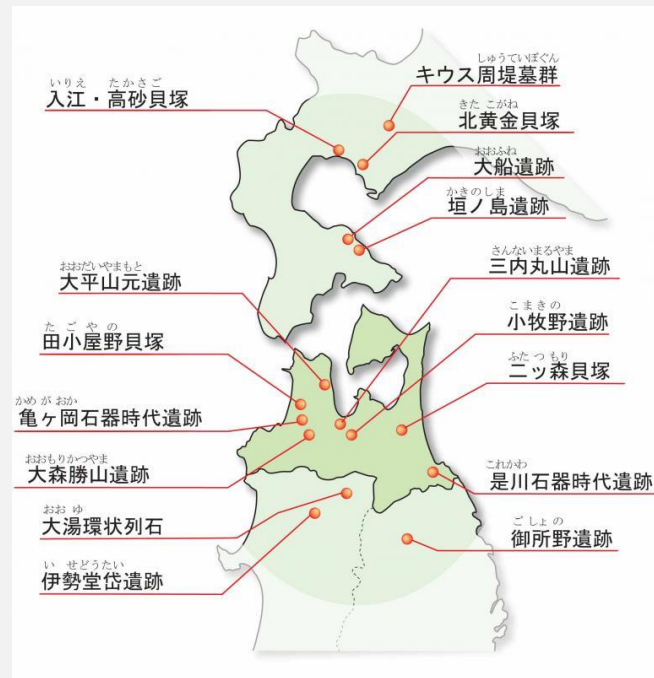
「北海道・北東北の縄文遺跡群」について

【17の史跡で構成される】

- 北海道…6史跡
- 青森県…8史跡
- 秋田県…2史跡
- 岩手県…1史跡**

【1万年続いた縄文文化】

優れた技術と豊かな精神世界を持ち、自然と共生した持続可能な生活は、現在の私たちにとって普遍的な価値となり得るのではないのでしょうか。



持続可能な縄文文化を活かして...

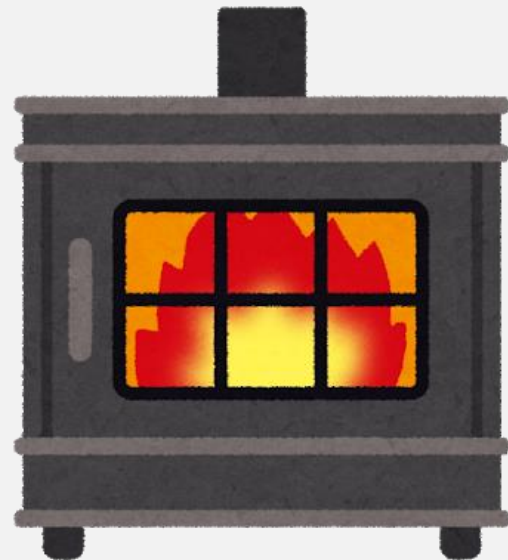
5300万KWh/年
(16,000世帯分)



400万KWh/年
(1,000世帯分)



5300万KWh/年
(16,000世帯分)



- ①自己紹介
- ②一戸町の紹介
- ③いちのへスタンプラリーでごはん堂の取組
- ④“繋がり”と“優しさ”を大切にしたドライブマップ作り
- ⑤今後について

いちのへスタンプラリーでごはん堂の実施！

2020年9月、「いちのへごはん堂」に掲載した飲食店の応援を目的にスタンプラリーを実施した。



2020年8月27日 岩手日報社

抽選会の模様を生配信!!



第2回抽選会までの応募総数は1,304件！抽選で30名の方に一戸町の工芸品や商品券をプレゼントした。
2021年2月16日(火)12:00～
第3回抽選会を予定！

いちのへごはん堂Facebookページにて抽選会の様子を生配信！



- ①自己紹介
- ②一戸町の紹介
- ③いちのへスタンプラリーでごはん堂の取組
- ④“繋がり”と“優しさ”を大切にしたドライブマップ作り
- ⑤今後について

始まりは週1回のミーティング...

2020年7月9日、「一戸町観光の長所と短所」について、
商工観光課のKさんと一戸町観光協会のYさんと打合せをする。

良いところ

- ①アクセスが良い。
- ②自然が豊富。
- ③オーセンティシティ(信憑性)が高い。
- ④奥中山地区に年間30万人を超える観光客が来る。

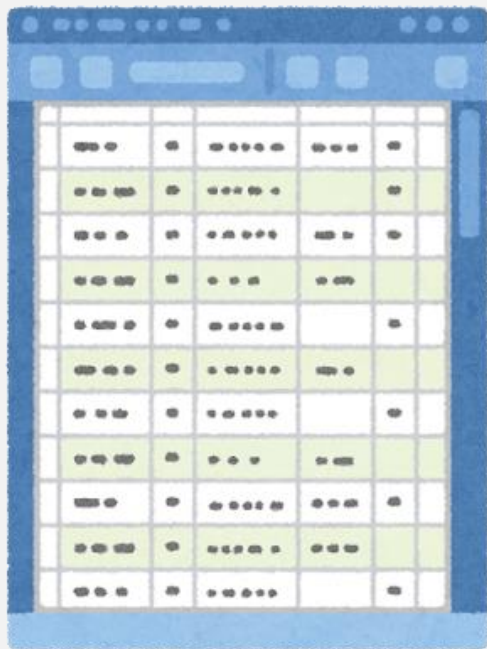
悪いところ

- ①知名度が低い。
- ②名物グルメがない。
- ③お土産品や特産品が少ない。
- ④宿泊施設が少ない。



ドライブマップの作成！

ステップ①観光施設の洗い出し



施設名	受付期間	所在地	コンテンツ	維持管理者
施設名	受付期間	所在地	コンテンツ	維持管理者
施設名	受付期間	所在地	コンテンツ	維持管理者
施設名	受付期間	所在地	コンテンツ	維持管理者
施設名	受付期間	所在地	コンテンツ	維持管理者
施設名	受付期間	所在地	コンテンツ	維持管理者
施設名	受付期間	所在地	コンテンツ	維持管理者
施設名	受付期間	所在地	コンテンツ	維持管理者
施設名	受付期間	所在地	コンテンツ	維持管理者
施設名	受付期間	所在地	コンテンツ	維持管理者

町内観光施設の表を基に、情報収集と共有を図った！

【主な調査項目】

- ①施設名
- ②受付期間
- ③所在地
- ④コンテンツ
- ⑤維持管理者
- ⑥メニュー



ステップ②周遊コースづくり【結ぶ】



2020年7月10日(翌日)から観光施設の表を基に周遊コースを3つ作成した！

題名	ターゲット	テーマ、目的
①時代をたずねる旅	主に40代以上	時代の流れを感じさせ、普遍的価値のある施設を結ぶ
②暮らしと文化の旅	主に30代以上	工芸品から、地域の暮らしや文化を想像させる
③奥中山高原レジャー旅	ファミリー層	家族全員が、もう一度来たい！と思う場所へ案内する

ステップ③レイアウトづくり【優しさ】



「優しさ」⇒「使いやすさ」を追求した構成

【使いやすさとは？】

- ①ドライブ中に邪魔にならないサイズ
- ②文字を減らし、写真やイラストを多くする
- ③所要時間を明記する(運転時間や滞在時間)
- ④他市町村へのアクセスも分かりやすくした



見開きA3、観音折りに決定(2020年9月14日)

ドライブマップの発行時期とその後...

2021年3月、ドライブマップ完成予定！

2021年2月、まち歩きマップ(一戸町商工会作成)完成予定！

【主な配布先】

・市町村役場、観光協会、観光施設、宿泊施設、レンタカー屋さん、駅
「パンフレットを置きたい」、「一戸町に置いてほしいパンフレットがある」、
という方はご連絡ください。

〒028-5311 岩手県二戸郡一戸町高善寺字大川鉢24-9
一戸町役場 商工観光課 大平まで！
0195-33-2111(内線265) Facebookからもどうぞ！

- ①自己紹介
- ②一戸町の紹介
- ③いちのへスタンプラリーでごはん堂の取組
- ④“繋がり”と“優しさ”を大切にしたドライブマップ作り
- ⑤今後について

今後の活動について...(協力隊として)

- お土産品の開発
- 一戸グルメ(御所野縄文メニュー)の開発
- 広域連携で周遊ルート作成(ツアー旅行企画)
- 持続可能な観光まちづくり

今後の方針について...(大平直人として)

- 地域資源である「人」を活かした起業
- 動植物や昆虫の居場所づくり→人の居場所づくり

ご清聴ありがとうございました！

